

ヒートポンプ式 省エネ液加温システム

Eco Heat

エコヒート

CO₂排出量
一次エネルギー
ランニングコスト

削減

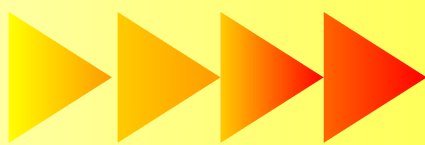
カーボンニュートラル/SDGsの実現に向けて、
液加温の新スタイル



ヒートポンプによる省エネ加温

1

の電気ので
空気中の熱を集めて圧縮し…



3

の熱
を吐き出します

成績系数COP≒3を実現！

エネルギー消費効率 COP:Coefficient Of Parformance

発電効率の高い電力会社の電気と、高効率ヒートポンプの
組み合わせで、エネルギー効率の向上・CO₂削減が可能に！



関西オートメ機器株式会社

エコヒートの液加温の仕組み

2. 蒸発器の働き

ファンで集めた空気熱を蒸発器に集め、冷媒に熱を伝えます。

3. コンプレッサーの働き

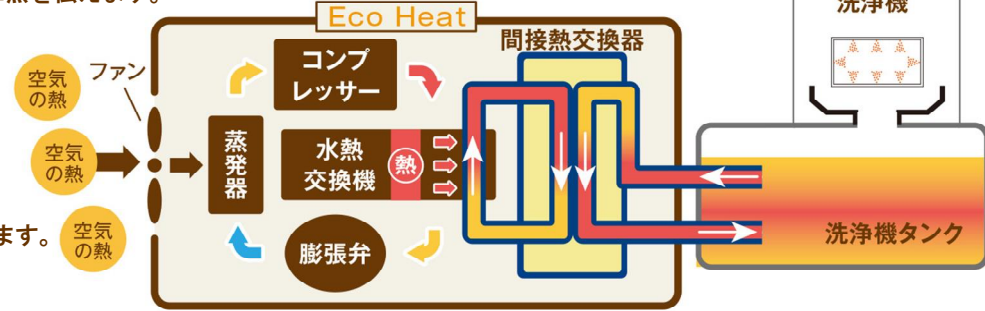
熱を持った冷媒はコンプレッサーで圧縮すると、さらに高温になります。

4. 水熱交換器の働き

高温になった冷媒の熱を水熱交換器で熱を水に移動させます。

1. ファンの働き

ファンを回し空気中の熱を集めます。



6. 膨張弁の働き

熱を失った冷媒に、空気からの熱を取り込む準備をさせます。

5. 間接熱交換器の働き

水熱交換器でできた熱水と洗浄液を間接的に熱交換し、洗浄液を加温します。

間接加熱式なので、ダーティな液でも安心して使えます！

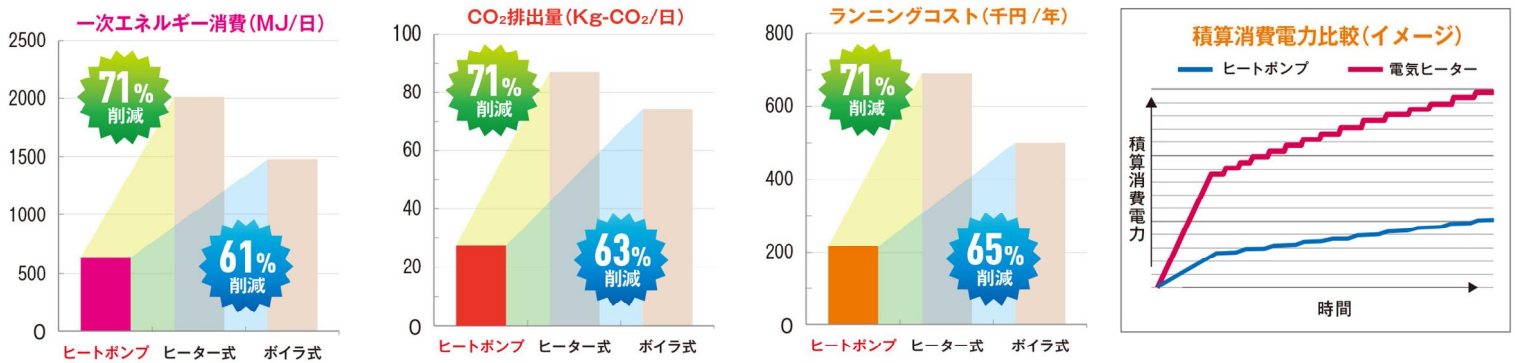
最大COP値≒3.1 つまり「1」の電力で「3.1倍」の仕事を行います！

(エネルギー消費効率)

最大4.5kwの電力で、14kw相当の加熱能力があります(※)

※条件：周囲温度 乾球25℃、湿球21℃、入口温度59℃、出口温度65℃

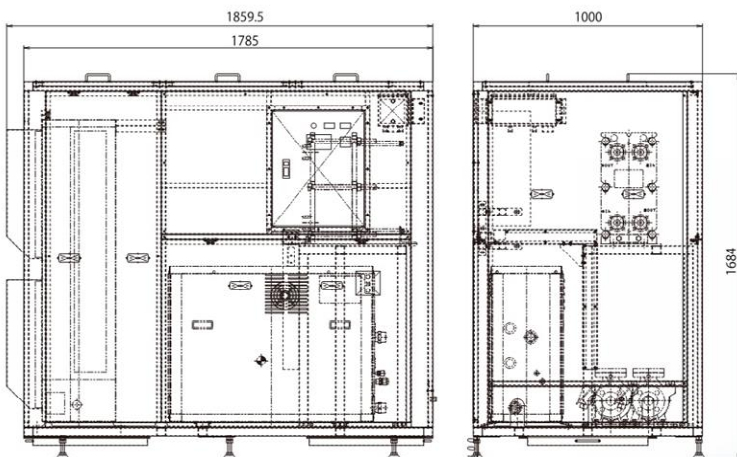
エコヒートの導入効果試算



従来の加熱方法と比較して、CO₂排出量・ランニングコストを約71%削減します！

※試算条件：装置の運転時間 16時間/日、20日/月、夏季の性能が1年を通じて発揮されると想定

電気ヒーター式：効率100%、ボイラー式：システム効率50%、消費電力考慮せず



EHP-140-i	
供給電源	3相 200V 50/60Hz
定格消費電力	4,52kw+0.8kw(注)
加熱能力	14kw(注)
最高出口温度	90℃
(注)周囲温度条件有り	

販売元



関西オートメ機器株式会社

TEL : 077-545-6851

Mail : info@tec-kak.co.jp